

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

一般社団法人自転車協会は、自転車活用推進法の目的である「官民挙げての自転車利用の普及促進」の趣旨を十分に踏まえ、「製品の安全性確保」と「自転車の需要拡大」に向け具体的な施策を講じた。

製品の安全性については、自転車活用推進法の基本方針を踏まえ、業界団体として永年注力してきたBAAマーク制度のより一層の浸透を図った。

併せて、依然として続く新型コロナウイルス禍において自転車の活用が注目される中、各種広報媒体をとおして安全・安心な自転車の利用促進に係る自転車のルール・マナー遵守に関する啓発活動を行うとともに、更なる自転車の有効利用の促進に向けて中長期的な自転車の需要拡大に係る各種施策に積極的に取り組んだ。

また、Cycle Aid Japanについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったが、SBAAオフロードバイクディーラーサミットを通じて自転車活用の推進に取り組む自治体との連携を図った。

[1] 事業の概況

1. 安全対策

(1) BAAマーク制度への対応

- ①「自転車活用推進計画」の中で、製品の安全性に関連して、BAAマークを社会的ニーズとして推奨していること等を踏まえ、BAAマーク貼付自転車の更なる普及拡大を図るべく、クロスバイクやE-クロスの貼付の状況等についてアンケート調査を実施した。
- ②BAAマーク貼付自転車を対象に行う商品検査については、JIS改正に伴う新基準により初めての実施となり、その結果を参加事業者で共有するとともに、商品検査ワーキンググループにて報告・分析し、併せて、次年度の検査方針等の検討を行った。
- ③BAAマークの理念やBAAマーク貼付自転車の優位性を、消費者の方々へ正しくお伝えする等、自転車選びに適切なアドバイスができる「BAAアドバイザー」の更なる拡大を図るべく、検定の実施と認定者のフォローアップを行った。

(2) スポーツBAAマーク制度への対応

- ①コロナ禍における新しい生活様式の中で、自転車通勤・通学等でスポーツ用自転車の利用者が増加する中、SBAA PLUS認定者との連携や各種メディアを通じて、メンテナンスの重要性や交通ルール遵守に関する情報提供を行った。
- ②eラーニング形式に移行したSBAA PLUS新規資格講習については、第8回の講習を昨年3月から4月にかけて実施し、認定者の拡大を図るとともに、認定者

向けの専用サイトの構築に着手した。

- ③ブラッシュアップ講習を、全国何処からでも受講ができる e ラーニング形式により実施し、新たな講習コンテンツに係る検討を行った。

(3) 自転車安全基準

①各種自転車安全基準の改正について

i. 自転車安全基準

自転車安全基準専門委員会にて、灯火装置等 JIS 改正に伴う改正等について検討を行った。

ii. 幼児 2 人同乗用自転車安全基準

自転車安全基準専門委員会にて、フレームの強度等に係る検査方法の表現の改善や制動性能判定時の条件の見直し等について、検討を行った。

iii. 電動アシスト自転車安全基準

電動アシスト自転車専門委員会、電動アシスト機能が付加された幼児 2 人同乗用自転車の主要寸法について、先行して改正を行った他の安全基準との整合について検討を行った。

②電動アシスト自転車のアシスト比率に係る規制緩和について

規制緩和に向けた安全性の実証実験については、現時点では、当会が協力することが難しいと判断し、本年 3 月下旬に警察庁に報告書を提出し、受理された。

③消費者庁公表の「幼児同乗中の幼児 2 人同乗用自転車」に係る事故調査報告書に関する検討

経済産業省からの要請を受け、一昨年 12 月に公表された事故調査報告書にある転倒防止策等について、自転車安全基準専門委員会と電動アシスト自転車専門委員会にて項目ごとに検討を行った。内容の纏まった対策案については、順次実行を開始した。広報活動による対策としては、現在完成車メーカーにご協力いただき、完成車に同梱いただいているリーフレット「幼児 2 人同乗用自転車をご利用の皆様へのお願い」に利用環境や目的に合った自転車選択の受容性について記述する等、増補改訂に着手した。

④規格の検討推進

(一財)自転車産業振興協会の JIS/ISO 規格研究委員会に委員として参加し、国際規格 (IS) との整合化を含め日本産業規格 (JIS) の原案作成事業に協力した。また、ISO/WG13/16 等への対応に係る国内作業部会に参画し、国際規格 (IS) 原案作成事業に協力した。

2. 広報活動

(1) BAA マーク関連広報

①広報業務

- ・コロナ禍が続く状況の中、自転車の有用性を更にアピールすべく、昨年度若年

層を中心に好評だった、ぽぷりか氏のアニメーションを本年度も起用し、引き続き「新しい自転車生活様式」キャンペーンを昨年11月～12月にかけて継続・拡大展開した。

- ・本年の春需では、昨年度の続編として、ぽぷりか氏のイラストによる自転車の利用促進を訴求する新たなコンテンツを制作し、Web（YouTube等）や交通広告等、有効な広報ツールにより展開した。
- ・また、本イラストをWeb等で視聴した消費者の店舗誘因に繋げるべく、Web広告、交通広告等と連動性を持たせた店頭用販促ツール（のぼり、ポスター、リーフレット）を配布した。

②PR業務

- ・教職者を対象にした通学車セミナーを、コロナ禍の中、感染対策を講じながら、栃木県、愛媛県、愛知県、福井県、山形県、滋賀県、奈良県、群馬県の8か所で実施した。また、次年度の開催に向け、開催した県へのアフターフォローとともに、未開催県へのアプローチを積極的に行った。
- ・個別の中学校、高校での自転車安全教室については、コロナ禍により開催は出来なかったが、要望のあった学校にはリーフレット等の配付を行うとともに、実施に向けた検討を継続した。

③BAAアドバイザーについて

第3回BAAアドバイザー検定を、昨年12月1日～本年3月31日に行い、新たに204名を認定し、また、認定者へのフォローアップ施策として、第4弾のスキルアップ動画として、「お客様が入りたくなる・買いたくなる店づくり」を専用Webサイトにて公開した。

(2) スポーツBAA関連広報

①マウンテンバイクユーザーの拡大

- ・SBAA オフロードバイクディーラーサミットを11月17日（水）に「ろまんちっく村もくもくの森（栃木県宇都宮市）、12月7日（火）・8日（水）に狩野川河川敷（静岡県伊豆の国市）にて開催した。
1月19日（水）にプラザ阪下（大阪府河内長野市）で開催する予定であったが、コロナ禍の影響により中止となった。
- ・新規施策としてスクール・クラブチームを紹介するWebコンテンツの製作を行い、SBAA スペシャルサイト「ENJOY SPORTS BICYCLE」で2022年3月1日（火）より公開した。
- ・第2回マウンテンバイクフィールド助成の対象、評価期間を2021年4月～12月とした2カ所について、本年2月から事業報告の審査を行い、助成を決定した。

- ②スポーツ用自転車の新規ユーザーの獲得等を目的とするSBAA スペシャルサイト「ENJOY SPORTS BICYCLE」は、コロナ禍で利用者が増えたクロスバイクビギナーを真の自転車ファンとして定着させるべく、クロスバイク系のコンテンツの充実を図った。記事ランキングでは「サイクリングコース」の紹介は年間を通して最も関心の高いコンテンツとして定着した。

③eラーニングによる3回目のSBAA PLUS ブラッシュアップ講習を昨年8月に実施し、受講者の56名の在籍店舗名を当会ホームページに掲載した。

(3) 協会広報

①TBSラジオ「ミラクル・サイクル・ライフ」

自転車番組「ミラクル・サイクル・ライフ」へのスポンサー提供をとおして自転車利用普及促進を図るとともに、当会活動の情報発信を積極的に番組内で行った。

②自協会ニュースとSBAA EXPRESSの発行

月刊で自協会ニュースを発行し、会員及び関係先に配付した。

併せて月刊でSBAA EXPRESSを発行し、SBAA PLUS 認定者(含特別賛助会員)へ配布した。

3. 自治体との連携

自治体との連携については、昨年11月の栃木県宇都宮市と12月の静岡県伊豆の国市で実施したSBAAオフロードバイクディーラーサミットにご来場頂いた、茨城県太子町、宮城県大河原町、静岡県伊豆の国市の3自治体から、当会のマウンテンバイクワールド助成に関してご相談があり、今後の具体的な対応について検討を行った。

4. Cycle Aid Japan 2021(東日本復興支援サイクリング)

9月下旬に開催を予定していた郡山大会、猪苗代大会(2021年9月26日)と同様に、10月9日開催予定の千葉大会(2021年10月9日)も、全国的な新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、中止となった。

5. 自転車協会主催のイベントの創設

- ・シマノ社主催の「OVE地域交流会」を継承し、令和4年9月以降、当会が主催となり開催する件については、今後の進め方等に関して検討を行った。
- ・皇居外苑で実施する当会の「皇居外苑自転車乗り方教室(仮称)」については、環境省の意向を踏まえ、新型コロナウイルス禍の状況を見ながら、令和4年9月以降に開始する方向で、具体的な日程や申請等の準備に着手した。

6. 電動アシスト自転車に係る型式認定の簡素化について

公益財団法人日本交通管理技術協会にご協力頂き、電動アシスト自転車に係る型式認定の簡素化に関しての検討を継続的に行った。

7. サイクリング及び自転車競技等関連団体事業への協力

自転車関連団体が実施する事業に協賛し、自転車の安全・安心な利用と普及に努めた。

8. 自転車工業の基礎調査事業

自転車工業の基礎調査事業における諸統計資料を収集整備し、会員あてに輸出入の動向及び生産動態調査表を作成し頒布した。調査結果については、本年3月に自転車工業

の基礎調査専門委員会にて報告し、次年度調査方針と併せて検討を行った。

9. 国際化への対応事業

世界的なコロナ禍により、例年開催されているアジア自転車産業連盟並びに世界自転車工業連盟の会合は開催されなかったが、電子メールにて情報交換を継続した。

[2] 会議の要録

1. 総会

第 85 回定時総会 令和 3 年 5 月 21 日 於 自転車協会

【審議事項】

令和 2 年度決算報告書承認の件 承認

臨時総会 令和 4 年 3 月 25 日 於 自転車協会

【審議事項】

令和 4 年度事業計画並びに予算の件 承認

2. 理事会

第 220 回理事会 令和 3 年 5 月 21 日 書面審議

【審議事項】

- (1) 令和 2 年度決算報告書承認の件
- (2) 令和 2 年度事業報告書承認の件
- (3) 顧問選任の件
- (4) 新規会員入会の件
- (5) BAA マーク広報に関する件
- (6) スポーツ BAA マーク広報に関する件
- (7) パレスサイクリング事業について
- (8) BAA 商品検査におけるリスク計量化運営基準の改定について
- (9) マウンテンバイク市場活性化について
- (10) CYCLE AID JAPAN 2021 について

以上承認

第 221 回理事会 令和 3 年 9 月 17 日 書面審議

【審議事項】

- (1) 令和 3 年度第 1 四半期 事業報告の件
- (2) 令和 3 年度第 1 四半期 会計報告の件
- (3) 令和 3 年度 BAA マーク広報について
- (4) パレスサイクリング事業について
- (5) マウンテンバイク市場活性化について

以上承認

第 222 回理事会 令和 4 年 3 月 25 日 書面審議

【審議事項】

- (1) 令和 4 年度事業計画並びに予算の件
- (2) 会費算定基準の一部変更について
- (3) 専門委員会設置規定の一部改正について
- (4) 一般用自転車並びに電動アシスト自転車安全基準の改正について

- (5) BAA 型式取得に係る検査料補助について
 - (6) マウンテンバイク市場活性化について
 - (7) 令和 4 年度商品検査方針について
- 以上承認

3. 常任理事会

- 第 180 回常任理事会 令和 3 年 7 月 16 日 Web 会議
令和 3 年度第 1 四半期業務並びに会計報告の件 他
- 第 181 回常任理事会 令和 3 年 9 月 17 日 Web 会議
令和 3 年度 BAA マーク広報について 他
- 第 182 回常任理事会 令和 3 年 12 月 10 日
令和 3 年度第 2 四半期事業並びに会計報告について 他
- 第 183 回常任理事会 令和 4 年 2 月 25 日
令和 3 年度第 3 四半期事業並びに会計報告について 他
- 第 184 回常任理事会 令和 4 年 3 月 25 日
 - (1) 安全啓発に係る広報施策について
 - (2) 理事・監事候補者の選任について

4. 監事会

- 監事会 令和 3 年 5 月 14 日 WEB 会議
令和 2 年度事業報告並びに会計報告
- 監事会 令和 3 年 9 月 10 日 WEB 会議
令和 3 年度第 1 四半期事業報告並びに会計報告
- 監事会 令和 3 年 11 月 5 日
令和 3 年度第 2 四半期事業並びに会計報告

5. 総務委員会

- 第 23 回総務委員会 令和 4 年 2 月 16 日 Web 会議
 - (1) 令和 4 年度事業計画について
 - (2) 令和 4 年度予算について
 - (3) 令和 4 年度会費算定について

6. 専門委員会等

- (1) BAA 広報専門委員会
 - 第 1 回 BAA 広報専門委員会 令和 3 年 11 月 19 日 (金) WEB 形式
- (2) マウンテンバイク市場活性化専門委員会
 - 第 1 回マウンテンバイク市場活性化専門委員会
令和 3 年 4 月 7 日 (水) WEB 形式
 - 第 2 回マウンテンバイク市場活性化専門委員会
令和 3 年 6 月 25 日 (金) WEB 形式
 - 第 3 回マウンテンバイク市場活性化専門委員会
令和 4 年 2 月 18 日 (金) WEB 形式
- (3) 自転車工業の基礎調査専門委員会 令和 4 年 3 月 11 日 (金) WEB 形式

(4) 電動アシスト自転車専門委員会		
第1回電動アシスト自転車専門委員会	令和3年6月15日(火)	WEB形式
第2回電動アシスト自転車専門委員会	令和3年10月5日(火)	WEB形式
(5) 自転車安全基準専門委員会		
第1回自転車安全基準専門委員会	令和3年6月2日(水)	WEB形式
第2回自転車安全基準専門委員会	令和3年7月28日(水)	WEB形式
第3回自転車安全基準専門委員会	令和3年10月5日(火)	WEB形式
第4回自転車安全基準専門委員会	令和3年11月30日(火)	WEB形式
(6) 商品検査ワーキンググループ会議		
第23回BAA商品検査ワーキンググループ	令和4年3月7日(金)	WEB形式

[3] 自転車関連団体事業の協賛概要

全日本実業団自転車競技連盟が開催した以下の競技大会に協賛した。

- (1) 第55回 JBCF 東日本ロードクラシック 群馬大会
- (2) 第55回 JBCF 西日本ロードクラシック 広島大会 他

[4] 会員異動状況 (令和4年3月31日現在)

正会員	令和3年3月31日	103社	令和4年3月31日	103社
	(入会：21テクノロジー株式会社、退会：株式会社ツノダ)			
一般賛助会員		4社		
特別賛助会員		206社		

[5] その他

令和2年度事業報告書、決算報告書及び公益目的支出計画実施報告書を令和3年6月に内閣府に提出した。

以上